

研究課題名「長年に渡って治療を継続されている慢性炎症性脱髄性多発神経炎患者に対して姿勢制御戦略の再学習が効果的であった一症例」に関する情報公開

1. 研究の対象

2017年12月05日～2017年12月17日に当院で血漿交換療法、大量免疫グロブリン療法を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

慢性の経過を辿る CIDP 患者の中で転倒リスクを呈している症例に対して立ち直り反応及び姿勢制御戦略の再学習を行うことで転倒リスクの軽減、転倒による二次的な障害受傷のリスクを軽減し日常生活動作能力の維持、QOL の維持に繋がることを報告することを目的とします。

方法は、2017年12月01日から2017年12月27日の期間で本院に入院した慢性炎症性脱髄性多発神経炎患者を対象として電子カルテから必要な診療録を収集します。

期間は実施承認日～平成31年09月18日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より以下の情報を収集します。

年齢、性別、身長、体重、病歴、既往歴、併存疾患、疾患重症度、検査歴、入院期間、転帰先、検査データ(血液、レントゲン画像、CT、MRI、病理検査、微生物学検査、心電図、針筋電図、心電図、心エコー検査、肺機能検査等)、リハビリテーションで得られた情報(握力、膝伸展筋力、徒手筋力検査、体組成、感覚検査、関節可動域検査、10m 歩行、腱反射、病的反射、片脚立ち時間、Mann 肢位保持時間、姿勢観察評価 等)等。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会および研究への利用を拒否する場合の連絡先者：

名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション部

理学療法士 釜淵健

〒466-8550 名古屋市昭和区 65 番地

電話番号：052-744-2687

FAX 番号：052-744-4688

e-mail：kamabuchi@med.nagoya-u.ac.jp

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション部
理学療法士 柴田篤志